



平成30年11月30日

とべだより

12月号

横浜市立戸部小学校

とベコンから、次への飛躍へ

学校長 柳澤 潤



平成の時代が、一つの区切りをつけようとしています。この年の瀬は、皆様にとっても、それぞれに感慨深いものが、あるのではないのでしょうか。学校は、創立139年を締めくくり、明年の創立140周年へ向けて、スタートを切ります。今までの総括を踏み台にして、次への飛躍を始める大きな節目に立っている実感があります。

11月には、全校での行事「とべとベコンコンサート2018」（とベコン）がありました。スローガンは、「心に残せ 未来に残せ ひびけ 戸部小メロディー」です。コンサートのはじめは、全員合唱。ステージ前に、密集の隊形で整然と並びます。全員が指揮者に注目し、心を合わせてしっかり歌い上げました。全員の声一つになり、迫力がありました。また、各発表は、学年に応じた工夫やチャレンジがあり、見ても楽しく、練習の成果が存分に発揮されていました。

素晴らしかったのは、子どもたちが真剣に発表を聞く姿です。期待のまなざしや、前のめりの姿勢から応援の気持ちが発表者に伝わるのです。コンサートは、表現する人と静かに聞き入る人が一体となってつくるものです。4月からの縦割り活動で築いた他学年とのかかわりが、他学年の発表者への大きな関心となって、聞く姿勢にも表れていると感じました。

PTAコーラスの方も、素敵な歌声で花を添えてくださり、会場がとてもしっとりとした雰囲気になりました。保護者の皆様には、立ち見でいっぱいになってしまう体育館での鑑賞でしたが、子どもたちの発表に聞き入ってくださいました。大きな拍手で応援していただいたことも、大変うれしかったです。職員の「ピタゴラスイッチ」のリコーダー奏は、思いもかけずアンコールの声上がり、練習の甲斐がありました。

さて、コンサート終了後に、学校運営協議会をさせていただきました。とベコンの感想について、率直にご意見をいただきました。「入学式に比べて、あんなに1年生がしっかりするなんて驚きです。感動しました」、「歌声や演奏、聞く姿勢も去年よりもまた、よくなっている」など、感動の言葉を寄せていただきました。

12月8日には、「生活・総合」の公開授業をさせていただきます。今年度も、全国の学校から問い合わせが多数あり、参観の希望を受けています。授業の中に、子どもたちの確かな成長が表れています。この取り組みが、とべファンにつながっていきます。子どもたちが活躍する様子を、多くの皆様に見ていただき、夢を実現しようとする真剣な姿や、あきらめずに課題に向かう姿を評価していただきたいと願っています。

本年も、地域・保護者の皆様、そして関係機関の皆様のご理解・ご支援をいただき、職員一同、心より、感謝を申し上げます。明年も、どうぞよろしく申し上げます。